

やまと

広報

3月号
2016 No.244

特集①

祝落成

大和村防災センター運用開始

特集②

大和村まち・ひと・しごと創生
総合戦略 策定

もくじ

- 02-05 特集①：大和村防災センター運用開始
- 06-07 特集②：大和村まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- 08-11 村の話題：島口教訓カレンダー配布、ほか
- 12 連載：どっくさむんがたり（大和診療所だより）
- 13 お知らせ：軽自動車税について、ほか
- 14-15 お知らせ：大和村議会議員選挙のお知らせ、ほか
- 16 連載：野山の匂、こせきの窓



右から宮田到大和村議会議長、伊集院幼大和村長、本重人 鹿児島県大島支庁長

新たな歴史をつむぐ

平成28年2月、新しく完成した大和村防災センターの運用が開始されました。同センターは、以前の中央公民館跡地にあり、1階部分には消防分駐所が設けられ、消防・防災の新たな拠点として、また村民の交流の場としての利用が可能です。村民の安全・安心な生活を守り、地域住民がにぎやかに集う施設が誕生しました。

運用開始に先立ち2月18日に行われた落成式典および祝賀会では、同センターの完成を祝ってテープカットを行いました。式典および祝賀会は2階防災研修室にて行われ、本重人 鹿児島県大島支庁長をはじめ、消防団長や施工業者などおよそ100名が出席。関係者には感謝状が贈呈されました。3月6日には、村民の皆さまに広く同センターをお披露目しようと「奄美歌謡と島唄の共演」と題した落成記念イベントを開催。イベントでは島内外で活躍する島唄、奄美歌謡の歌い手の方々が出演。200名を超える観客が訪れ、真新しい会場で素晴らしい演奏と歌声を堪能しました。

大和村防災センターの利用目的は大別すると自然災害などの非常時の利用と、村民の交流の場としての平時の利用です。大きな災害がなく避難所としての出番がないこと、そして村民の皆様に親しまれ、楽しい時を過ごすゆらい場として未永く歴史を紡いでいくことを願います。

落成記念イベントの様子

- ④ 福永美和代さんと内山むつ代さん
- ⑤ 森山博勝さんと三線教室の生徒さん
- ⑥ 出演歌手の皆さん

祝賀会の様子

- ① 祝唄 森重瑞希さんと中村百合子さん
- ② 祝舞 麓幸子さん
- ③ 感謝状贈呈



安全で快適な施設を目指して

災害時の津波や浸水等に備え、建設場所の地盤を、1.7m程嵩上げし防災力を強化。鉄筋コンクリートの一部4階建てで、屋上は津波時の避難場所としても利用できます。

1階には消防分駐署、事務室、会議室、防災資料室などを配備。2階には防災研修室、厨房、和室の避難居室など。3階には、浴室や長時間の停電にも堪えるための非常用発電機も設置されています。身障者用トイレ、乳幼児のオムツ交換台、浴室、厨房等の施設は、災害時の避難所として利用する際にも村民の皆様が快適に過ごせるよう配慮されています。また、施設は全館バリアフリー。大和村内で初となるエレベーターも設置され、年配者や体の不自由な方が円滑に避難や利用ができるよう配慮されています。

大和村防災センター建設にかかる事業費については、総事業費が多額にのぼるため、平成24年度から4ヶ年間の予算で国の社会資本整備総合交付金事業および防災安全交付金を活用し整備を行いました。



□施設概要

- 建設場所 大島郡大和村大字思勝字永良 477 番 1
- 建築規模
 - 防災センター 鉄筋コンクリート造 4階建 1,860㎡
 - 防災センター車庫 鉄筋コンクリート造 1階建 226㎡
- 各階配置
 - 防災センター
 - 1階-消防分駐所、事務室、備蓄倉庫、機械室、防災資料室
 - 2階-防災研修室、厨房、避難居室(和室)、倉庫
 - 3階-避難居室(和室)、機械室、浴室、発電機械室
 - 4階-備蓄倉庫
- 総事業費 約8億6千万円





変わりゆく風景
変わらない思い



写真(上)は、以前の中央公民館が新設された昭和51年に撮影されたものです。思勝と大和浜をつなぐ永良橋が建設される以前の様子が見てとれます。永良橋は、昭和53年に建設され、2つの集落をつなぐ主要な橋となりました。これにより周辺集落民の利便性が向上したことは言うまでもありません。昭和56年村体育館が完成(写真右)。平成元年には、消防組合大和分駐所が設置され、村内の防災機能も拡充しました。今般運用が開始された大和村防災センターも、村民の皆様にとさらなる安全を提供するためのものです。年々姿を変える風景の裏には、皆様の生活の質を高めたいという一貫した思いがあります。



ドローンによる撮影



忘れられない記憶

奄美豪雨災害。

平成22年10月20日、奄美大島を襲った未曾有の災害によって大和村内では、家屋の全半壊や床上浸水、土石流の発生など甚大な被害を受けました。多くの住民が公民館や近くの民家への避難を余儀なくされ、心細く苦しい経験をされました。当時の中央公民館と隣接する消防分駐所も冠水。救助および避難の中心となる施設がその機能を十分に果たせないという、あつてはならない事態に。このことから、住民の生命と財産を守るため、災害時にも緊急車両の出勤や、消防の防災活動が迅速に遂行でき、住民が安心して避難できる総合的な防災機能を備えた施設の建設にむけて取り組みが開始されたのです。



4つの基本目標

- 基本目標①** **大和村の特徴を活かした働きがいのある就業の場を創出する**
大和村の地域資源や潜在的可能性を持つ資源の掘り起こし等による「独自の強み」を最大限に活かした地域産業の振興を図るとともに、産業振興を担う人材の育成・確保に取り組みます。
- 基本目標②** **大和村の魅力を発揮し、新しいひとの流れをつくる**
恵まれた自然環境という「豊かな」生活環境に加え、宮古崎トンネル開通後には、これまで以上に「便利で安心安全」な生活環境が確保されます。これらのことと、「子育て環境」を更に充実させることによって、子育て世代への移住訴求力向上を発揮させるとともに、豊かで安心できる環境での居住を望むシニア層の移住・定住促進に取り組みます。
- 基本目標③** **若い世代が安心して結婚・出産・子育てを楽しめる環境をつくる**
出生数の向上を図るため、未婚率の改善や出産・子育て環境やその支援体制の充実を図り、子育てと仕事の両立が可能となる安心して子育てしやすい環境づくりに取り組みます。
- 基本目標④** **全ての村民が「主人公」となり、やりがい・生きがいを感じる地域をつくる**
人材の宝庫と言える高齢者がその知見を発揮できる場を整備することによって、若い世代だけが「主人公」の社会ではなく、全ての村民が「主人公」となり、やりがい・生きがいを感じる社会を構築することで、人口以上の地域力を発揮する「小さくとも光り輝く村へ」という将来像の実現に取り組みます。

数値目標

指標	基準値(現状)	目標値(H31)
新規起業件数	2件 (H24~26平均)	3件/年
就業者数	321人 (H26)	450人
1人あたり村民所得	1,729千円 (H24)	2,000千円
社会増減数 (転入数-転出数)	▲3人 (H24~26平均)	40人/年
入込客数	41,600人 (H26)	45,000人/年
延べ宿泊数	2,000人 (H26)	2,400人/年
結婚組数	2組 (H24~26平均)	5組/年
出生数	8人 (H24~26平均)	15人/年
合計特殊出生率	1.78 (H20~24平均)	2.10
村民幸福度 (住民生活満足度)	-	70%以上

具体的事業と優先順位

1 基本目標①
2 基本目標②
3 基本目標③
4 基本目標④

優先度 A 『最優先』で実施すべき事業

- 観光ガイド人材育成 1 2
- シルバー人材センター設立 1 2 4
- 「果樹の村 大和村」
活力再生事業 1
- 誘致企業に対する
輸送コスト支援 1
- 新たな農家助成制度創設 1
- スモモ・タンカン収穫体験
メニュー実施 2
- 大和村観光周遊ルートの確立 2
- 公衆無線LAN(Wi-Fi)の整備 2
- 大和村観光マップ作成 2
- 子育て支援策の更なる充実化 2 3
- 移住者サークルの結成 2
- 大学インターンシップ 2
- 「島キャン」受入事業 2

優先度 B 『計画レベル』の検討実施

- 新規就農希望者支援制度 1 2
- 複合型観光拠点施設整備 1 2
- スモモ販売チャネル開拓事業 1
- ハナハナウエスの活用法検討 1 2
- 子育て支援センターの開設 1 2 3
- 国民休暇村の誘致検討 1 2
- 光ファイバー整備 1
- 大学誘致事業 1 2
- 0歳児から預かり可能な
保育所運営及び支援 2 3
- 新たな食事メニューの創出 2
- クローズド観察小屋整備 2
- 単身世帯向け住宅整備 2
- ホームホスピス設置 4
- 公共施設の移転検討 4

優先度 D 優先度Bの次に『計画レベル』での検討開始

- 起業支援助成制度 1
- 民泊の実施検討 1 2
- 特産果樹オーナー制度 2

優先度 C 優先度Aを軌道に乗せた後に事業実施可能となるように準備

- 地元専門学校進学者向け就学支援 2 3
- パワースポット創出 2
- 「観光タクシー」利用支援 2
- 親子留学制度の拡充 2

※効果を向上させるための『内容検討』が必要

優先度 F 事業内容の『大幅な見直し』が必要

- 行政主体の農業法人設立 1 2 4
- 携帯アプリを活用した
観光ビックデータ化・誘客促進事業 2

※必要であると提案された事業であるため可能な限り効果的な事業となるよう検討を図るが、費用対効果等により、事業廃止も考慮する

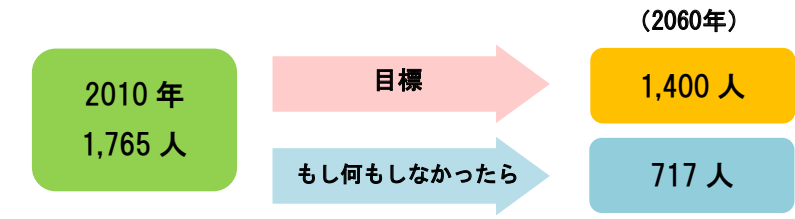
優先度 E 事業内容の『見直し』が必要

- 就業支援制度 2

※容易と位置付けられた事業であるため、内容を再検討することで、事業効果を向上させる

大和村の将来目標人口

奄美大島全体の「奄美大島人口ビジョン」では、2060年の将来目標人口を52,600人に設定しています(2010年総人口:65,762人の約8割)。
本村でも、2060年の将来目標人口を**1,400人**(2010年総人口:1,765人の約8割)に設定し、そのために取り組む出生率向上及び転出抑制、目標転入の目安を、以下のとおりとします。もし「やるべきこと(事業)」を実施しなかったら、**717人**まで減少する推計が出ています。

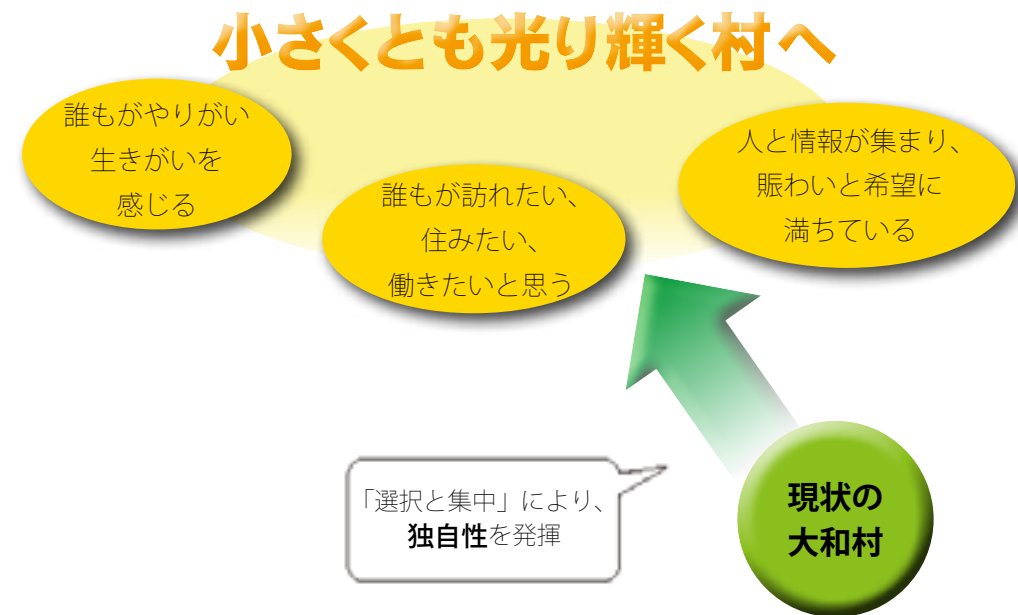


(合計特殊出生率及び転出抑制、目標転入の目安)

- 合計特殊出生率の向上: 1.78 ⇒ 2.1
- 雇用・就学・生活環境改善による転出抑制: 毎年15人
- 移住・定住促進による目標転入: 毎年10人

大和村の将来像

本村の将来像を「**小さくとも光り輝く村へ**」と設定し、人口規模は小さくとも、一人ひとりの村民が活力にあふれ、存在感のある村づくりを目指します。
この将来像を実現するという強い想いを原動力に、誰もがやりがい・生きがいを感じられる地域社会を築き、誰もが訪れたい、住みたい、働きたいと思える村、そして人と情報が集まり、賑わいと希望に満ちた将来の本村の姿を皆で共有したうえで、村づくりを進めていきます。



「大和村まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、大和村総合戦略)」は、本村の現実に応じた政策分野ごとの基本目標や基本的方向、具体的な事業を取りまとめたものです。
平成27年度を始期とする5ヵ年間(平成27~31年度)を計画期間とし、本村における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごこの創生と好循環の確立に対応した戦略に取り組んでいきます。
本村では、この短期間で、効率的に成果を得るため、「やるべきこと(事業)」の「選択と集中」による事業実施を図り、また、大和村総合振興計画を基軸として、奄美群島成長戦略ビジョン及び奄美群島振興開発計画等とも連動させることで、必要な事業を行政と民間が協働して、着実に効果的に実施します。

大和村総合戦略の特徴

- ◆ 総花的ではない「**選択と集中**」による事業の実施
今、大和村として地方創生実現のために、「何から」「どの順番」で取り組むべきかを明確にして事業を実施します。
- ◆ 数(人口)ではない、中身(村民)重視の視点
人口の多い少ないだけが論点ではなく、全ての村民が「主人公」となり活躍できる社会を構築することにより、「村民幸福度」の向上を図ることを重視します。
- ◆ 地方創生法の定める**計画期間にとらわれない事業の実施**
地方創生法の定める計画期間はH27~31年度ですが、この計画期間を超える5ヵ年以上の中長期展望を持った事業については、この限りとしません。
- ◆ 国・県・村等、**様々な財源を活用した事業の実施**
本戦略に盛り込まれた事業は、これから大和村として取り組む必要があると提案された事業であることから、「地方創生交付金制度に該当しないから実施できない」ではなく、その他の様々な財源を活用し事業を実施します。

村の宝をいつまでも

高倉の葺き替えを行いました

大和浜の群倉の補修作業が行われました。県指文化財であるこの群倉は、島内で唯一大和浜集落に現存し、大和村が誇る貴重な文化財です。しかしながら、豪雨災害などの影響を受け腐食が進んでおり修復が必要な状態となっています。5棟あるうちの一番古いもので築100年以上が経過したものの1棟の補修作業が行われました（写真右）。残りの4棟も順次修復作業が予定されています。

作業にあたり課題となるのが後継者の育成と材料の確保です。高倉は奄美独自の建築様式でねずみの害から穀物を守る工夫が凝らされた高床式倉庫であり、昔の生活様式を後世に伝えるため保存が望まれます。しかし、技術者の高齢化や新しく技術を学ぼうとする若者の減少にともない伝統技術の継承が懸念されています。材料に関しては、本来ならばリュウキュウチクを使用するところ、調達できる量が限られるため、ス

キを混合するなどの対応策をとっています。今後は、茅場の確保のためリュウキュウチク植栽育成も計画しております。高倉は本来、風通しのよい場所に建てられ、台風のたびにこまめに補修を行い維持されてきたもの。この古代の知恵が結集した群倉を現代の知恵と技術をもって保存していきましょう。



未来ある生徒たちへ

立志の集い 村長が講演

大和中学校において2月2日、「立志の集い」が開催され、伊集院幼村長が講演を行いました。立志式は、昔の成人式にあたる元服の祝いに由来し、数え年15歳の子どもたちが目標を定め将来に向かって志を立てる機会として中学校などで開催されています。大和中学校では全校生徒を対象に毎年講演会を開催しています。

講演は、「魅力ある村づくりを目指して」と題し、伊集院村長から大和村の現状や問題点などが語られ、活性化に向けた村の取り組みなどを紹介。将来より多くの方が大和村に帰ってきたいと思うような村づくり、そして帰ってくる若者が活躍できる雇用の場をつくることに引き続き取り組んでいきたいと生徒に熱く語りかけました。また、生徒たちが体育祭などに主体的に取り組む活躍する姿をみて感激していることを伝え、その姿勢をもってすれば何事も成し遂げることが

できると、生徒らを鼓舞。伊集院村長は、この度大和郡町村会の会長に就任。何事にも意欲的な伊集院村長ならではの熱い講演は、人生の節目となる15歳を迎える生徒たちの心にはどのように響いたのでしょうか。2年生代表の林美嶺さんはお礼の言葉で「将来は大和村に貢献したい」と語っていました。



伝えよう 島の教え

島口教訓カレンダーができました

大和村教育委員会が1月、島口教訓カレンダーを作成し、村内の全戸に配布しました。古くから伝わることわざや島口に各家庭で親しんでもらうことを目的に、日めくりで毎年繰り返し使えるように作成されています。大和村に限らず、島には文化遺産ともいえることわざや教訓歌が数多く残されています。人々が生活していくうえでの貴重な教えとして学校制度のない時代より親から子、そして孫へと言い伝えられてきました。作成にあたり、教育長を始め大和村PTA連絡協議会のメンバーらで検討会を重ね、次世代へ伝えたい島のことわざを厳選。ふりがなをふって小学校低学年の児童にも読めるように工夫されています。島口の発音は、通常のひらがなでは表現しきれないものもありますが、できるだけ正確に発音できるようふりがな表記の検討を重ねました。各家庭において、次世代を担う子どもたちに島口に親しんでもらうこと

はもちろん、地域のお年寄り子どもたちとの交流のきっかけにし、世代を超えた地域のコミュニケーションを図る狙いも。ぜひご活用ください。

「挨拶やくいくとうば 銭金ずいんかねやいらん」（カレンダー9日掲載）言葉遣いにはお金や物はいらぬ。大切なのは心のこもった温かい言葉のやりとりである。



804人が森林浴

大盛況 まほろば大和ウォーキング大会

第14回まほろば大和ウォーキング大会が、1月31日奄美フォレストポリスにて開催されました。同大会は、大和村教育委員会によって開催され、4km、6km、8kmのコースがあり、水辺の広場付近では見頃を迎えたヒカンザクラを眺めながら歩くことができます。4kmコースにはベビーカーや赤ちゃんを抱っこして参加する親子連れの姿も多く見受けられ、お花見と森林浴を家族そろって楽しみました。村内外から多くの方が参加され、今回の参加者数は、なんと804名！過去最多記録を更新です。地場産農産物の販売や健康チェックコーナーも設けられ賑わいを見せました。

6kmコースに参加した大和小学校5年の小島心那ここなさんは、「6kmはきつくて、早く休憩所に着きたいと思っていたけれど、サクラがきれいとても楽しかった。」と話していました。一緒に参加した4年

生の前田愛璃あいりさんは「来年は8kmに挑戦したい」と次回への意気込みを語ってくれました。全員がゴールした後に開催される恒例のお楽しみ抽選会では、景品に大和村産の野菜や物産品が用意され、当選番号が発表されるたびに歓声が。来年も多くの方がご参加くださいますようお願いしています。



みんなで心を一つに

大柵小学校 学習発表会

大柵小学校にて2月14日、学習発表会が行われました。保護者や地域の住民が集まり全校生徒21人の作品や劇を鑑賞しました。学習発表会のテーマは「みんなで心を一つに咲かせる大輪の花」。テーマの通り、児童たちは発表当日を迎えるまで練習を重ね、みんなで心をひとつにし立派な成果を発表しました。1、2年生による音楽劇「ピノキオ」では、小さな体で大きな舞台を目一杯使って表現。田島教頭のピアノ演奏に合わせて、それぞれが役になりきり歌い踊りました。また来年度入学の保育生2名や、地域の方々も参加し、会場は大盛り上がり。3、4年生が行った劇「大柵探検隊」では、「大柵川」を題材に奄美の川、海、山などの生き物や環境についての学びを発表しました。某携帯電話会社のテレビCMを模して「桃ちゃん」ならぬ「すももちゃん」が登場。笑いあいの劇に仕上げました。5、6年生は、島口劇「ふうだな

野茶坊物語」と題して、江戸時代の島民の苦しい生活や野茶坊の歴史を調べ、島口の台詞で劇を構成しました。三線で「行きゅんにゃ加那」も演奏。我が子の成長ぶりに驚きと感動で胸を熱くした保護者の方々も多かったのでは。全員の発表に会場からは惜しみない盛大な拍手がおくられました。



笑顔いきいき！

大学生 介護現場で研修

鹿児島市の鹿児島国際大学介護福祉コース3年で介護士、社会福祉士を目指す学生9名が2月5日、授業の一環として大和村を訪れました。大和村と鹿児島国際大学は、相互に協力し地域社会の発展に寄与することを目的に平成26年に連携協定を結んでおり、今回学生の研修が実現。大和村の風土や地域社会の実情を知り今後の学業にいかすことが研修の狙いです。

学生たちは奄美フォレストポリスに2泊し、大和中学校や、大和の園、集落の支え合いグループなどを訪ね、村民との交流を深めました。

介護の現場を体験する目的で訪れた大和の園では、利用者たちとなごやかに歓談し親睦を深め、持参したはっぴを着て鹿児島民謡「おはら節」を披露。続いて、利用者のお年寄りも学生らと一緒にAKB48のヒット曲を踊り、体を動かし楽しいひとときを過ごしました。

学生の児玉幸太さんは、「鹿児島市育ちで離島は初めて。お年寄りの笑顔がいきいきとっていて印象的だった」と語り、「村民の笑顔から島の暮らしや施設での生活の良さが伝わるようだ」と話してくれました。今後ますます笑顔と活気あふれる大和村であるよう福祉の向上に努めてまいります。



ササントウを散策

台湾ヤマツツジの植樹イベント

宮古崎つつじウォークが3月13日、同イベント実行委員会やNPO法人TAMASU（代表 国直在住の中村修さん）などの共催で行われました。国直公民館から国定公園宮古崎まで往復5km道のりを歩き、台湾ヤマツツジを植樹するイベントで、7回目を迎えた今回は過去最高となる300人以上が参加。用意された苗150株を植樹して快晴のなか清々しい汗を流しながら岬を思い思いに散策しました。

ツツジの名所として名高かった宮古崎ですが盗掘が相次ぎ今ではほとんど見る事ができません。中村さんによると、名所を再生させようと青年団らで植樹を企画し、10年がかりで苗を完成させたそう。自然保護の啓発、盗掘防止の広報活動を行おうと始めたのが同イベントです。ウォーキング前には、宮古崎の生態系を守るため、外部から植物の種などを持ち込まないように参加者の靴底を消毒洗浄。国定公園でもある宮

古崎の環境保全に対する熱心な取り組みがうかがえました。ウォーキング後は、国直公民館にて昼食のカレーやシシ汁がふるまわれました。地元ミュージシャンらによるライブも開催。地域の皆さんが協力して宮古崎を再生させようという熱意が実を結んだイベントとなりました。



癒やしを体験しませんか

トカラ馬の「ティン」

戸円在住の白石聡さんが自宅の庭で県天然記念物であるトカラ馬を飼育しています。トカラ馬は、絶滅した喜界馬がかって宝島に持ち込まれ、トカラ列島で繁殖したもので、日本固有の在来馬8種のうちの1つ。保護・繁殖活動の目的で鹿児島大学の施設に放牧されている馬のうち一頭を白石さんが引き取り飼育を始めました。現在奄美大島で飼育されているのは4頭。戸円にちなんで「ティン」と名付けられたこの馬(メス・推定生後6ヶ月)は野生で生活していたことから、はじめは車などを怖がり緊張した様子だったそう。温厚な性格のため、いまはすっかり慣れて白石さんにひかれながら集落内を散歩することも。

以前から馬を飼ってみたいかったという白石さん。トカラ馬の保護活動を知り、飼育することに。将来的には、ホースセラピーの場として活用していきたいと話してくれました。ホースセラピーとは、馬との触れあ

いを通じて精神面・身体面で人を癒やすというもの。足が不自由であっても乗馬をすることで全身運動ができ、癒やしの効果があるのだとか。取材時、のんびりと草を食む姿を眺めるだけで心がほぐれるよう。馬の癒やし効果を実感しました。

週末などは見学や案内も可能とのこと。



軽自動車税の税率が変わります



平成 28 年度より軽自動車税の税率が変更になります。
 国の税制改正において、軽自動車と小型の普通自動車間の税負担水準格差を見直すため、軽自動車税の標準税率引き上げ等が決まりました。大島地区の市町村においても、国の改正を踏まえた市町村の条例改正に伴い、軽自動車税の税率を変更します。特に、**四輪の軽自動車の場合、初年度検査年月（車検証記載）によって、税率が異なります。**

ご不明な点があれば、住民税務課にご確認ください。
 電話：57-2127（直通）



車種区分	年税額		
	これまで	平成 27 年 4 月 1 日以降に新車登録した車両	新車登録から 13 年を経過した車両
乗用車	自家用	7,200 円	10,800 円
	営業用	5,500 円	8,200 円
貨物車	自家用	4,000 円	6,000 円
	営業用	3,000 円	4,500 円

車両区分	総排気量 (区分・用途)	年税額	
		これまで	平成 28 年度から
原動機付 自転車	50cc 以下	1,000 円	2,000 円
	50cc 超～ 90cc 以下	1,200 円	2,000 円
	90cc 超～ 125cc 以下 (ミニカー)	1,600 円	2,400 円
	125cc 超～ 250cc 以下	2,500 円	3,700 円
軽二輪	125cc 超～ 250cc 以下	2,400 円	3,600 円
小型二輪	250cc 超	4,000 円	6,000 円
小型特殊 自動車	(農耕用)	1,600 円	2,400 円
	(その他)	4,700 円	5,900 円



どうくさむんがたり

平成 28 年 7 月（予定）より、大和診療所の隣に院外薬局が開設されます。院外薬局では、薬や湿布、絆創膏（傷バン）などを名瀬まで行かなくても購入することができます。診療所は院外処方となるため、ほぼ全ての薬を処方することができますようになります。訪問診療をしている患者さん宅には、薬剤師も訪問するようになります。

そこで今回は、院外処方のしくみである「医薬分業」について、ながはま調剤薬局薬剤師の勇径明さんにお話して頂きます。

ご存じですか？「医薬分業」

文／ながはま調剤薬局 薬剤師 勇径明



病気や怪我の時に医師に診察してもらい、病院や診療所で薬をもらうかわりに「処方せん」をもらい、この「処方せん」を保険薬局に出して薬剤師に調剤してもらうしくみを「医薬分業」といいます。2012 年度の 1 年間に全国で発行された処方せんの枚数は 7 億 5888 万枚で、医薬分業率は 66.1% に達しています。

処方せんには薬の名前や飲み方・使い方が書かれています。薬剤師が患者さんの体質や薬の使用記録、また他に飲んでいる薬があれば飲み合わせなどを確認し、処方せんに書かれている薬の量や種類をチェックしたうえで調剤します。お薬を渡す際には、薬の正しい服用方法や注意点について指導します。飲み忘れ・飲み間違いを防ぐため、1 回に飲むお薬を一包にまとめたり、お薬の名前や飲み方、効能・効果や副作用などの情報を書いたメモをお渡しして説明をしたり、お薬手帳にお薬の情報などの記録もします。また最近では同じ成分で安価な薬剤（ジェネリック医薬品）を調剤することによって医療費を抑えることも薬剤師に求められています。

複数の医療機関、例えば内科と整形外科と耳鼻科などに通院していませんか。その際にお薬をもらう薬局はどこにしていますか。薬局は患者さんが自由に決める事ができます。複数の医療機関を受診する場合にそれぞれ別の薬局でお薬をもらうのではなく、お薬をもらう薬局を一か所に決めておくことを「かかりつけ薬局」といいます。かかりつけ薬局ではあなたのお薬に関する記録を保管しています。お薬の処方歴やアレルギーや副作用等を記録しておくことで、患者さんのお薬の安全性を高めることができます。ぜひ「かかりつけ薬局」を決められることをお勧めします。

他の病院や診療所の処方と同じ薬が重複していたり、危険な飲み合わせがある場合など処方内容に疑問がある場合、薬剤師が医師に問い合わせ、その結果、処方内容の変更や、処方中止等の処置がとられることもあります。

薬剤師の業務は、薬局の中だけではありません。病気や身体の変化によって、病院や薬局に通うことが難しくなった方に対する医師による訪問診療や看護師による訪問看護と同じように、薬剤師による在宅訪問もあります。

医療の高度化とともに機能分化が進み、現在の医療には様々な専門分野があります。それぞれの専門家がチームワークを組み、協力し合うことでよりよい医療が提供されます。医薬分業も、医師と薬剤師が協力してお薬をより安全に使っていただくための制度です。

世界自然遺産登録に向けて わたしたちにできること

ノラネコ・ノネコを
NO! 増やさない!

01 猫を飼い始めたら、まず登録を

「飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例」で大和村にお住まいの飼い主は、**飼い猫の登録が義務付けられています。**きちんと飼い猫として登録し最期まで面倒をみましょう。大和村役場住民税務課で登録できます。

02 飼い猫の身元表示を忘れずに

飼い猫登録した際に配布された**登録証と首輪を付け、飼い猫だと明示しなければなりません。**また、マイクロチップを挿入してアイポ（Animal ID Promotion Organization/AIPO）が管理する動物 ID 情報データベースに登録しておく、万が一迷子になってしまった場合、飼い主の元に戻れる可能性が高くなります。

03 室内で飼いましょう

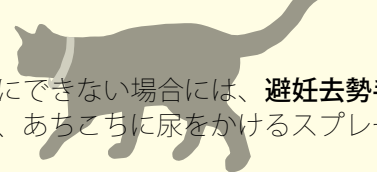
屋外の環境は感染症や交通事故など、ネコにとって必ずしも安全とはいえません。ネコの習性を理解し、屋外に出さずとも**ストレスを感じない環境を屋内につくって飼養することがネコにとってもより安全です。**また、花壇やゴミを荒らすなどご近所への迷惑行為もなくなります。

04 飼ったら捨てない

ネコを捨てるとノラネコ、ノネコになり人間や野生生物、捨てられたネコをも不幸にします。本来山中には生息しないネコを放つことは、生態系を破壊します。また**希少な野生生物を捕食してしまうことも。**万一、飼い続けることが難しくなったら、新たな飼い主を見つけることも飼い主の責任です。また、ネコを遺棄することは犯罪です。

05 責任のある飼い方を

子猫が生まれることを望まない場合や、生まれた子猫全てを幸せにできない場合には、**避妊去勢手術をしましょう。**病気の予防やストレスの軽減になります。また、オスの場合は、あちこちに尿をかけるスプレー行動の予防にもなります。



大和村長の意思表明

消費生活相談について

「消費生活相談については、近年悪質業者の手法は複雑かつ巧妙化しており、全国的に消費生活相談件数は年々増加しています。」

村では住民税務課内に消費者行政担当職員を配置し、より高度な相談にも対応できるよう相談体制をとっています。今後も継続して、消費者被害を未然に防ぐための啓発活動の推進等相談体制の充実を図ってまいります。」

大和村長 伊集院 幼

□問い合わせ先

大和村役場住民税務課

電話：57-2127（直通）

国民健康保険のお知らせ

●国民健康保険に加入している方で、就職等で職場の健康保険に加入された方や、ご家族の被扶養者になられた方は、国民健康保険の喪失の届出が必要です。

●学生用の被保険者証（マル学）該当の方（就学のために他の市町村へ住んでいる子どもさんなど）、卒業または年度途中でやめられた方は、大和村国保に該当しなくなります。お早めに喪失の手続きを済ませてください。

□問い合わせ先

大和村役場 保健福祉課

電話：57-2218（直通）

大和村議会議員選挙のお知らせ

大和村議会議員選挙が行われます。投票をお忘れなく。

□投票日 平成28年5月15日（日）

□投票時間 午前7時～午後6時

□投票所

第1区（国直・湯湧釜・津名久・思勝・大和浜） 大和村体育館

第2区（大柵・大金久） 大柵公民館

第3区（戸巴） 戸巴公民館

第4区（名音） 名音へき地保育所

第5区（志戸勘・今里） 今里公民館

■期日前投票期間 平成28年5月11日（水）～5月14日（土）

■期日前投票時間 午前8時30分～午後8時

■期日前投票場所 大和村選挙管理委員会事務所

□問い合わせ先

大和村選挙管理委員会・大和村明るい選挙推進協議会

電話：57-2111

選挙の日 みんなで投票 大事な一票



大和村議会議員選挙 5月15日(日)投票日

明るい選挙推進協議会イメージキャラクター 選挙のめいすいくん

アルコール依存症回復プログラム

第3回AA奄美群島オープン・スピーカーズ・ミーティングが開催されます。AA（アルコール依存症回復プログラム）は、飲酒の問題を持つ男女の国際的な集まりです。自分の飲酒問題を何とかしたいという人なら、だれでもメンバーになれます。AAでは、回復のプログラムとして「12のステップ」が提案されています。この12のステップを日々の生活の中に取り入れることで、単にお酒を飲まないばかりではなく、充実した生きがいのある人生を送ることが出来ます。今回の「第3回AA奄美群島オープン・スピーカーズ・ミーティング」では、AAメンバーが、日常生活の中で「12のステップ」をどのように活用し、飲まないで生きているか、その喜びを語ります。奄美群島をはじめ、関東、関西、九州からも多くの仲間が参加します。

アルコール問題で悩んでいる方、ご家族、ご友人・知人、また関係者、関心のある方のご来場を心からお待ちしております。入場無料・予約不要です。

□日時 平成28年4月23日（土曜日）

午前10時～午後3時

（開場は9時半）

□場所 名瀬公民館金久分館 2階研修室

□主催 AA徳之島アイランドグループ

AAあまみアダングループ

□問い合わせ先 AA九州沖縄セントラルオフィス

電話：099-248-0057

国定公園内での行為について

国定公園内では、各種開発行為が規制されています。次のような開発行為等を行う場合は、事前に県知事への許可申請・届出の手続きが必要となります。

◇手続きの必要な行為（一例）

① 工作物（建築物を含む）の新築・改築・増築、木竹の伐採、広告物の掲出（案内板を含む）、開墾・土地の形状変更、鉱物や土石の採取、屋根・壁面の色彩の変更、環境大臣が指定する植物の採取又は損傷等。

◇許可申請・届出の手続き

（1）申請・届出の様式

様式、必要な添付書類、記載要領については、県のHPに掲載されています。

（2）標準的な処理期間

通常約1ヶ月を必要とします。

（3）注意事項

行為の種類、規模、地種区分の違いにより手続き等に違いがあり、また、行為の場所や内容によっては、許可できない場合もあります。また、奄美群島国定公園では、採取・損傷を行う場合に許可が必要な植物として環境大臣が指定している植物が84種（イソマツ・ミズカンピ・ヒカゲヘゴ等）あります。国定公園内で植物を採取される場合は、指定種に該当しないか事前に大島支庁総務企画課、関係市町村役場にご確認ください。自分の所有地でも、国定公園内での行為については手続きが必要です。

□問い合わせ先

大島支庁総務企画課商工観光係

電話：57-7215

平成28年度鹿児島県教職員人事異動（大和村関係分）

鹿児島県教育委員会から平成28年度の定期人事異動が発表されました。異動規模は、前年度より22人多い2627人。大和村関係分は転出者10名、転入者10名、転出される先生方「ありがとうございます！」「いも〜れ！まほろばの郷大和村へ！」

新たに着任された先生方「いも〜れ！まほろばの郷大和村へ！」

◇転出者

今里小 真辺幸成校長

櫛小（曾於市）へ

大和小 長田正博教諭

名瀬小（奄美市）へ

大和小 富山友枝養護教諭

定年退職

大柵小 坂口美由紀教諭

古仁屋小（瀬戸内町）へ

大柵小 下之蘭由美教諭

朝日小（奄美市）へ

大柵小 佐多巖教諭

国分北小（霧島市）へ

名音小 北岡勝教諭

退職（期限付任用）

名音小 山田智子事務職員

笠利中（奄美市）へ

今里小 脇園康人教諭

名音小へ

大和中 川俣治香教諭

吉田南中（鹿児島市）へ

大変お世話になりました ありがとうございますよ〜た！

感電事故防止のお願い

鯉のぼりの季節になりましたが、感電事故防止のため、電線付近での鯉のぼりの掲揚や魚つりは絶対に行わないようお願いいたします。

なお、一鯉のぼりや、釣り糸が電線にかかった場合は、自分で取ろうとせず、お近くの九州電力までご連絡をお願いいたします。

□問い合わせ先

九州電力（株）奄美配電事業所

住所：奄美市名瀬長浜町6番1号

電話：0120-986-808

全国戦没者追悼式 参列遺族募集

平成28年全国戦没者追悼式への参列を希望される遺族の方を募集します。

□期日 平成28年8月15日（月）※前日からの団体行動になります。

□場所 日本武道館（東京都千代田区）

□対象者 戦没者・一般戦死没者の配偶者および三親等内の遺族 ※過去に参列したことがない方を優先。※「次世代への継承」の観点から「18歳未満の遺族」についても募集します。

□申込期間 平成28年5月2日（月）～5月31日（火）

□募集人員 65人 ※申し込み多数の場合は、選考となります。

□申し込み先 大和村役場 住民税務課

□問い合わせ先 大和村役場 住民税務課

電話：57-2127（直通）

県庁社会福祉課

電話：099-286-2830

ご結婚おめでとう

宮田 龍 さん（今里）

満山 夏妃 さん（奄美市）

森 信之助 さん（国直）

才原 明日華 さん（国直）

ご誕生おめでとう

政 虎太郎 さん（政裕大・国直）

関 海琉 さん（関伸哉・名音）

お悔やみ申し上げます

村山 和彦 様（84歳・思勝）

福山 富代 様（77歳・戸巴）

森 和夫 様（89歳・国直）

中島 一士 様（94歳・戸巴）

原文子 様（79歳・大和浜）

満 義明 様（54歳・国直）

福山 勝弥 様（80歳・名音）

香典返し（社会福祉協議会へ）

里岡 伸夫 様（故久保スミ様）

村山 弘子 様（故村山和彦様）

福山 茂 様（故福山富代様）

森 和明 様（故森和夫様）

野崎 敏子 様（故原文子様）

福山 トミエ 様（故福山勝弥様）

ふるさと納税ありがとうございます

日高 正貴 様（東京都）

児玉 初子 様（霧島市）

名古 正勝 様（横浜市）

広報誌謝礼ありがとうございます

中山 淑子 様（神奈川県）

石塚 夕方 様（鹿児島市）

川畑 和昭 様（奄美市）

大森 富久 様（東京都）

野山の



大和村の木

モッコク

第19回



モッコクは、モッコク科の常緑高木で南西諸島や東南アジアなど暖地の海岸近くに自生する高木。15メートルに達することも。方言名ハーモ。

この木が最も存在感を発揮するのが新芽の息吹くのこの季節。今年もモッコクの赤い若葉が春の訪れを予感させる季節になりました。若葉をさして「新緑」といいますが、奄美大島を覆う森の木々は、黄色から濃い赤みを帯びた色合いまで艶やかなグラデーシオンを織りなします。山々が輝きシマの景観に彩りを添える春です。

イジユ、イスノキ（ユス）、イヌマキとならびかつて建築材の一等品だったモッコク。木目の地肌が赤く、材質が堅いので床柱などに使用されてきました。モッコクは、成長のスピードが遅く巨木になるには長い期間を要します。そのため、家主にとってモッコクを利用して家を建てることは自慢でもあったのだとか。

またイヌマキと同様に耐久性があ



り、シロアリに食されない代表材木でもあるため、沖縄瓦の下に敷く材として沖縄でも重宝されていました。帆で風を受けて走る木造船「マールン船」が沖縄から大和村の思勝湾までモッコクの丸棒を買い付けにくる光景が戦前まで見られました。

モッコクの利用は建築材としてだけではありません。漁に出るアイノコ舟を操るヨホもモッコクで作られています。人々の生活においてさまざまな利用がなされ、それにより恩恵を受けてきことから、大和村では感謝の気持ちを含め、日本復帰25周年記念事業の一環として昭和53年にモッコクを村木に指定しています。

こせきの窓

人口	1,598人	(△38)
男	777人	(△18)
女	821人	(△20)
世帯	871戸	(△6)

2月29日現在
(前年同月比)



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページ携帯サイトへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接URLを入力してアクセスしてください。
(<http://www.vill.yamato.lg.jp/i/>)

発行・編集 大和村役場総務企画課
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100番地
TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161
mail:info@vill.yamato.lg.jp
<http://www.vill.yamato.lg.jp>